

令和2年度 第3回 福井県国民健康保険運営協議会（書面開催）意見概要

- 日時：令和3年2月4日（木）～2月15日（月）の期間に各委員に持ち回り説明
- 概要：（1）福井県国民健康保険運営方針改定案について …… 資料1～3
（2）令和2年度国保運営方針の進捗状況について …… 資料4
（3）令和3年度国保納付金・標準保険料の本算定について …… 資料5
各資料について事務局から説明後、委員から意見聴取

【各委員からの意見概要】

（中島委員）

- ・ 地域医療構想の会議にも参加しているので、保健医療サービスと福祉サービスの連携はよく話題になる。特に在宅医療をどうするかが問題。嶺南のほうでは進んでいるようだ。運営方針の記載については改正案の通りでいいと思う。
- ・ 被用者保険側としては、前期高齢者納付金の負担が大きいため、国保に対しては適正な財政運営をしてほしいと思っている。

（山本委員）

- ・ 飲食業は国保の人が多いと思うが、コロナの影響で収入が無くなり、保険料を払えない人も多いのではないか。

（事務局）

- ・ 今年度はコロナの影響で収入が減少した場合は保険料が減免になる制度がある。

（江守委員）

- ・ 市町間の医療費格差に関しては、高浜町は在宅医療に取り組んでいるため、入院が少ないと思われる。これが高浜町の医療費が一番低くなっている原因の一つかもしれない。
- ・ 他県では、例えばパン屋さんで販売されているパンの塩分を減らしたら、高血圧や脳卒中が減ったという事例がある。医療費を減らしていくためには、食品や経済など他分野の人とも協力して取り組む必要があると思う。

(畑委員)

- ・ 保険料水準の統一について、ある程度目途はあるのか。

(事務局)

- ・ 次の3年間で統一に向けたロードマップを作成する予定であり、その中で目標年次も協議していく。

(畑委員)

- ・ 保険者努力支援制度の結果については、県ごとの結果は国保新聞などに掲載されているが、市町ごとの結果までは分からない。市町ごとの結果についても公表すべきだと思う。

(角野委員)

- ・ 最近高額薬剤が増えている。がん治療でも薬剤治療を希望する人が多い。医療費の増加は今後も続くのではないか。
- ・ 後発医薬品の使用割合については、小林化工のシェアが結構あったため、今後は少し下がるかもしれない。他のメーカーでまかなえているのは5割ほどと聞いている。

※運営方針改定案（資料1～3）については、全委員が改定案通りとすることで了承